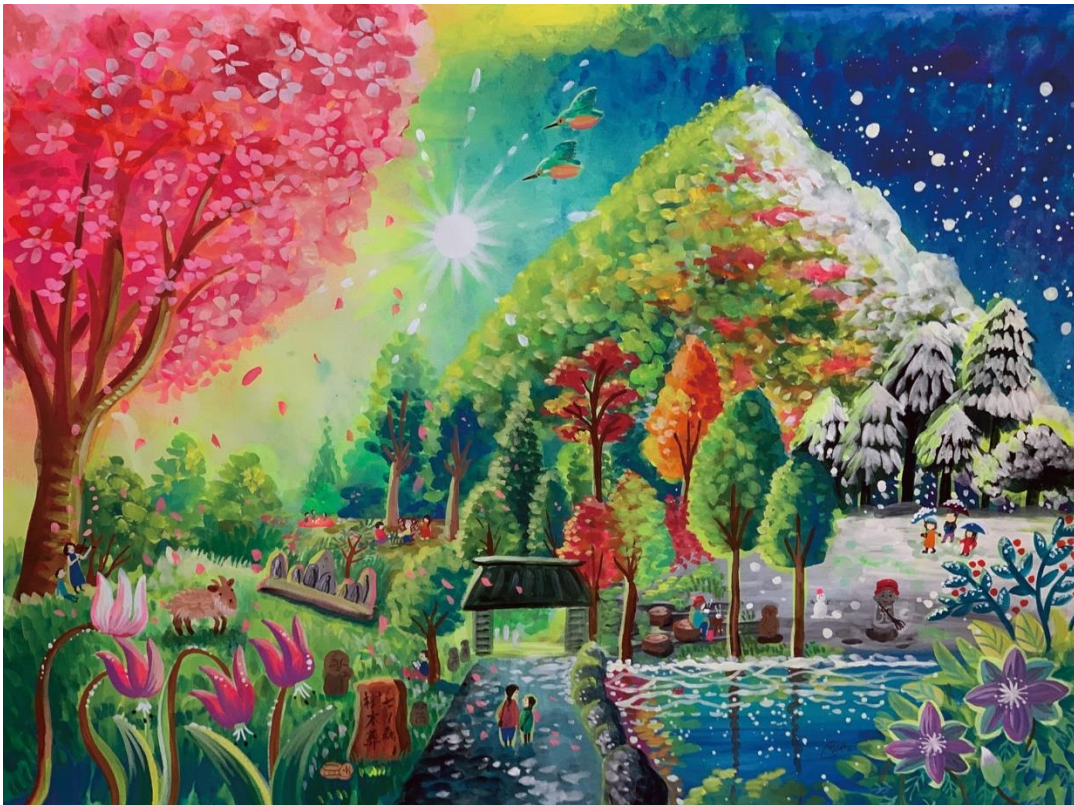


榎ノ木

第廿貳号

令和3年3月20日発行
青壮年部女性部広報
題字：大内翠峰



by ちゃず〔イラストレーター〕

樹木葬 イメージイラスト完成



作者は今話題のイラストレーターの「ちゃず」さんです。
奄美大島が不思議な縁となり、住職と何度もやり取りの末、オリジナル・イメージイラストが仕上がりました。画面左から右に向かって春夏秋冬四季の移り変わりが表現されています。
樹木葬の自然と人々との様々な実際の関わりが細部に美しく込められています。



- 1 お墓参りの後は、家族でお弁当を広げてピクニック
- 2 セツ森湧水の溪流にカワセミ（翡翠）が飛び、蛍も舞う。
- 3 南天の赤い実が、白雪に映えます
- 4 バイオリンの音色に、カモシカも誘われてお散歩。
- 5 カタクリの花とお地藏さんの傍らで読書する人も
- 6 亡きご主人と差し向かいの珈琲ブレイク



年頭恒例の総代会に併せて厳修〔総代のみ参加〕

1月9日（土）定例総代会を前に本堂にて、大般若祈祷と疫病退散祈祷が厳修されました。例年当山では12月の成道会の際に、多くの和尚様方と檀信徒、樹木葬会員を迎えて盛大に開催されておりますが、昨年はコロナ過により中止、今回総代のみ参列して実施されました。併せて、臨済宗中興の祖、白隠禅師由縁・峨山慈禅師墨蹟の疫病除け御札（京都市自休庵謹製）の祈祷も行い、後日、大般若札とともに全檀家に配布され、好評を得ました。

この一年間の檀家家内安全と一日も早いコロナ禍の収束を祈念申し上げます。

白隠禅師年譜の八十四歳の頃に、床浦大明神の話が出ている。禅師の最晩年のことだが、ある日禅師が夢を見た。一人の老人がやってきて、疱瘡にかららないお札をくださいという。当時疱瘡がはやっていた。禅師はそんなお札は知らぬと答えた。すると老人は「床浦大明神の五字を書いてください、そのお札を朝晩崇拜すれば靈験がある」と言った。禅師は夢覚めて、床浦大明神のお札を授けるようになった。その靈験あらたかなことは夢の中の老人のいう通りであった。（後略）臨済宗円覚寺派管長 横田南嶺老師



左より釈迦出山図・十六善神・仏足跡



〔疫病除け御札解説〕※写真左

大般若祈祷・コロナ退散札 祈祷

涅槃会「お釈迦様の命日」



明治42年ご先祖様が寄進した涅槃図（裏面に寄進者名記載）を前に子孫パチリ！



住職涅槃図絵解きに熱弁を振るう!?

昨年の記録的な雪無し冬と打って変り、この冬は年末から二年分「これでもか!？」の豪雪に見舞われ境内を埋め尽くす雪と寒さの中、2月13日涅槃会が実施されました。コロナ感染防止の為、一般参加者を交えず、総代と花園会青壮年部・女性部役員のみ参列。例年の楽しみ「お汁粉」は中止、その分御詠歌奉詠・住職の涅槃図絵解き法話が懇ろに行われました。



本堂屋根に積もり積もった圧雪が地響きを立てて落雪！ 住職雪かきを振るう!?

予告

子育て水子地藏祭り 花祭り・〔降誕会〕

今年はやります！(全て屋外で！)

・法話(大本山妙心寺派布教師)

・和太鼓コンサート

(お弁当付き！)



令和**3**年**5**月**23**日(日)

午前**10**時から

会場：境内及び樹木葬

しゅんうん
(岫雲の森)

お志(※祝儀又は布施)受付後、
法要参加者はどなたでもご覧に
なれます。※金額自由

改めて4月中に文書 HP にて御案内致します。

来場の際には検温、マスク着用、手指消毒にご協力ください。



屋外で生演奏！



だげいしゅう かい
〔打藝衆 傀〕

禪興寺の法類寺院、大郷町
東光寺住職高橋幸也師家族も
メンバーとして大活躍中の和
太鼓集団



体温測って
(おいどんマスク着用中)



まずは手指を消毒して



パルスオキシメーターで測定！

「樞ノ木」読者の反響全国各地から

岐阜県下呂市温泉寺様より

今回樞ノ木で禪興寺の茅葺山門修理の記事が縁となり温泉寺様役員会で地藏堂の檜皮葺き屋根が完成しました！とのうれしいご報告を頂きました。

温泉寺住職岩浅宏館師（写真下段各中央）は、十年前の東日本大震災復興支援において、地元寺院和尚様方や、ご家族も含め多大なご尽力を頂いた心熱い禅僧です。

岐阜県下呂市 温泉寺

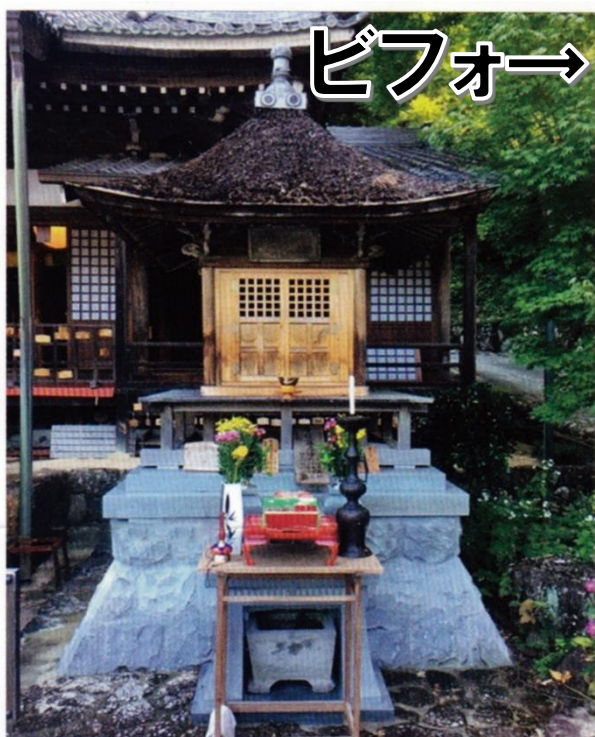
冠省

いつもお世話になり、有難うございます。

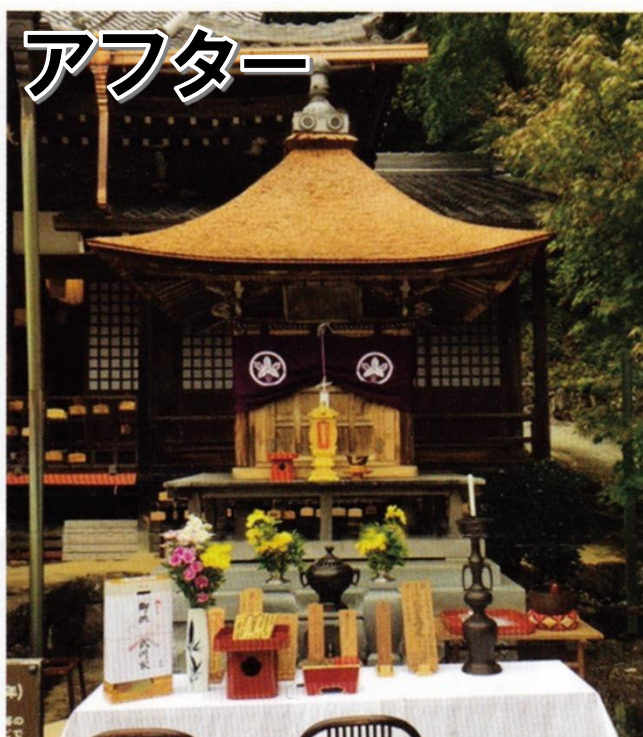
昨年の夏の卑山役員会に於きまして、貴山報「樞ノ木」をみんなで拝読させて頂きました。

特に、あの立派な茅葺山門修繕事業に刺激を受け「やはり可能な限り伝統の技術を残そう」ということになり、規模は小さいながらも卑山（温泉寺）境内に残ります檜皮葺を修繕することが叶いました。

本当に感謝をしています。有難うございました。



ビフォー



アフター

風雪に耐え時代を感じさせる趣（修理前）

修繕が完成した檜皮葺屋根



東日本大震災翌年気仙沼地福寺1周忌法要にて

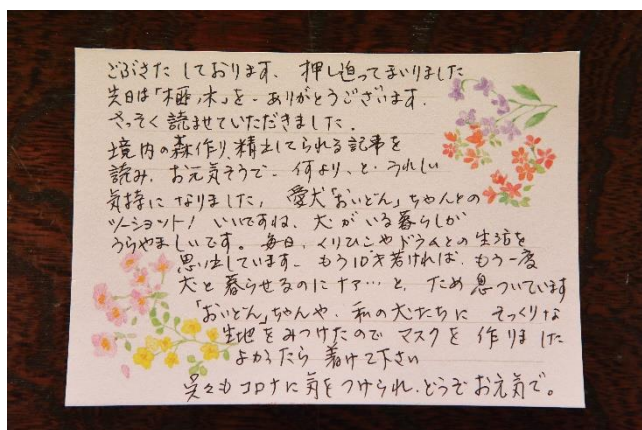


2011年震災直後、復興支援途上にて

清浄山禪興寺 花園会青壮年部・女性部会報



「愛犬マスク」可愛らしいワン！



いつも心のこもったお手紙ありがとうございます！

京都市 佐々木 順子様

先日は「榎ノ木」を有難うございます。さっそく読ませていただきました。

境内の森作り精を出しておられる記事を読み、お元気そうで何よりとうれしい気持ちになりました。

愛犬「おいどん」ちゃんとのツーショット！いいですね。犬がいる暮らしがうらやましいです。

(中略)

「おいどん」ちゃんや私の犬たちにそっくりな生地を見つけたので、マスクを作りました。

良かったら付けてください。

呉々もコロナに気を付けられどうぞお元気で。



雪もへっちゃら「おいどん」！

今後の行事予定

◎3月28日(日) 午後4時

境内墓地清掃

◎4月(未定)

水子地藏世話人会

◎5月23日(日) 午前10時

子育て水子地藏祭り

花祭り・和太鼓コンサート

◎6月(未定)

青壮年部・女性部総会

◎8月8日(日・祝山の日)

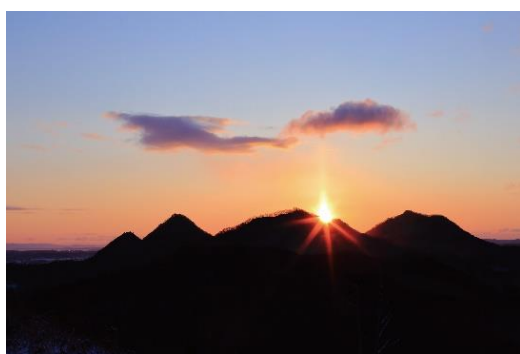
盂蘭盆施餓鬼会

編集後記

七葉師掛け

大和町に古から伝わる七ツ森を一日で全て踏破する風習です。

七つの頂に鎮座する薬師様にコロナ禍が一日も早く収束すること、皆さんが心も体も健やかに過ごせるようにお祈りをしてきました。ゆっくりで大丈夫です。身近な山を楽しみながら登りませんか？



山頂からの眺めは格別

広報部

部長 小川弘吉

副部長 相澤敏晴

部員 佐藤 彰 早坂妙子

発行

禪興寺花園会青壮年部・女性部 広報部

〒九八一・三六二五

宮城県黒川郡大和町吉田字長福寺一
電話番号 〇二二・三四五・二〇六三